

緩和ケアってなに？

緩和ケアは、がんに伴って起きるさまざまなつらさを和らげるためのケアです。

そして、がんと診断されたときから、いつでも受けることができます。

- 痛みやつらい症状（息苦しい、吐き気、食べられない、不眠、だるさなど）の軽減
- 心ころのケア
 - 病気に関するだけでなく、生活上の悩みも受け止めサポートします
- 日常生活のサポート
- 家族のケア
- 「あなたらしさ」を大切にします
 - 大切な人たちとの時間、自分らしく過ごせるようできる限り希望を尊重します

緩和ケアは、外来、入院（一般病棟、緩和ケア病棟）、在宅など、希望に合わせて様々な場所で受けられます。

1) 病院で緩和ケアを受ける

- 入院中の場合は、一般病棟で「緩和ケアチーム」の診察を受けることができます。
- 外来であれば、主治医へ相談し、緩和ケア外来を受診できます。
- 専門の「緩和ケア病棟」でケアを希望される場合は、緩和ケアチームへご相談ください。

2) 自宅で緩和ケアを受ける

「**緩和ケアチーム**」は、一般病棟の入院中におこる、からだやこころの様々なつらさを和らげるための専門チームです。

- * 入院している病棟のスタッフと協力しながら、患者さんとそのご家族を支えます。
- * 症状緩和の専門医師、精神科医、専門看護師、薬剤師などが力を合わせて活動しています。
- * 地域のがん診療の中心となる「がん診療連携拠点病院」には必ず緩和ケアチームがあります。

緩和ケアを専門的に行う病棟です。

静かで穏やかな環境で生活できるよう工夫されています。



病室は半数以上が個室です。談話室やキッチンが設置されているところもあります。

四季折々の行事やコンサートが開かれることもあります。



また、ご家族との時間を大切にできるよう、配慮されています。

* 茨城県内の緩和ケア病棟は、筑波メデイカルセンター病院、つくばセントラル病院、友愛記念病院、水戸済生会病院の4か所です。

緩和ケアは、自宅で生活を続けながら受けることもできます。

1) 通院して緩和ケアを受ける(緩和ケア外来)

通院でも痛み止めの薬をもらったり、悩みを相談したりすることができます。

2) 在宅で訪問サービスを受ける

訪問診療(かかりつけ医の往診)、
訪問看護(看護師)、訪問介護(ホームヘルパー)、
訪問薬剤管理指導(薬剤師)、
訪問リハビリテーション(理学療法士)

緩和ケア病棟の1日分の自己負担額の目安は、

1) 1日の入院料(2010年9月現在)～定額制

3割負担 $37800\text{円} \times 3\text{割} = 11340\text{円}$

1割負担 $37800\text{円} \times 1\text{割} = 3780\text{円}$

1日当たり37800円に健康保険が適応されます

2) 食事の自己負担金

3) 差額ベッド料(保険外費用)

病院によって異なります。健康保険は適用されません。
高額療養費制度が適応されます。

あなたをチームで支えます

がん患者さんとその家族の悩みは様々です。総合的なサポートを行うために、緩和ケアでは、チームでみなさんを支えます。ご家族も大切なメンバーです。いつでもお気軽にご相談ください。